

はじめに

本県では、今後、高齢者人口の急増が見込まれている中、認知症高齢者は、平成 22 年（2010 年）の約 12 万 5 千人から平成 32 年（2020 年）には約 19 万 3 千人に増加すると見込まれています。

認知症対策は、認知症を正しく知ってもらう啓発活動から始まります。

認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らし続けるためには、県民一人ひとりの認知症に対する理解が何よりも必要です。

このため、千葉県では、認知症に対する偏見を解消し、理解を深めてもらうことを目的に、平成 18 年度から認知症サポーター養成講座を実施することとし、その講師役であるキャラバン・メイトの養成を行っています。

このたび、県内で活躍するキャラバン・メイトの今後の活動の参考資料としていただくことを目的に、千葉県の中にある優れた認知症サポーター養成講座の取組みを事例集として取りまとめました。

この事例集が、各キャラバン・メイトの積極的な活動に役立つことができれば幸いです。

チーバくんが右手に付けているのは、認知症サポーターの証の「オレンジリング」です。認知症サポーターとは、認知症の人とその家族の応援者のことです。

千葉県では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



千葉県マスコットキャラクター
「チーバ」くん